



平成25年3月期 第2四半期決算短信 [日本基準] (連結)

平成24年10月31日

上場会社名 セントラル硝子株式会社 上場取引所 東・大
 コード番号 4044 URL <http://www.cgco.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 血澤 修一
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理室長 (氏名) 大串 誠 TEL 03-3259-7062
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月9日 配当支払開始予定日 平成24年12月10日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績 (平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	81,705	3.4	3,675	70.5	4,058	93.5	2,181	118.3
24年3月期第2四半期	78,991	2.3	2,155	△12.7	2,097	△9.6	999	△17.2

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 △231百万円 (-%) 24年3月期第2四半期 △120百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	10.42	-
24年3月期第2四半期	4.77	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	214,920	116,463	53.6
24年3月期	221,041	117,355	52.5

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 115,096百万円 24年3月期 116,010百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	-	3.00	-	3.00	6.00
25年3月期	-	4.00	-	-	-
25年3月期(予想)	-	-	-	4.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想 (平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	173,000	3.3	8,000	37.4	8,500	22.0	5,400	25.4	25.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注)詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期2Q	214,879,975株	24年3月期	214,879,975株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	5,632,589株	24年3月期	5,627,713株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期2Q	209,249,982株	24年3月期2Q	209,275,917株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) セグメント情報	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災後の復興需要などを背景に緩やかな回復傾向にあるものの、円高の長期化や欧州債務危機、さらにはアジア経済の成長鈍化などの不安要因を抱え、依然として先行き不透明な状況が続きました。

このような経済状況のもとで、当社グループは、積極的な販売活動を展開いたしました結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は81,705百万円と前年同期比3.4%の増加となりました。

損益面につきましては、経営全般にわたる業務の効率化・合理化施策を推進してまいりました結果、経常利益は前年同期比1,961百万円増加の4,058百万円となり、四半期純利益は前年同期比1,182百万円増加の2,181百万円となりました。

セグメント別の概況

(ガラス事業)

建築用ガラスにつきましては、国内建築需要が低水準に推移しましたため、売上高は前年同期を下回りました。

自動車用ガラスにつきましては、エコカー補助金等による需要増や、昨年事業買収しました米国新会社 (Carlex Glass America, LLC) の売上寄与などで、売上高は前年同期を上回りました。

電子材料用ガラスにつきましては、タッチパネル関連製品の出荷が堅調に推移しましたため、売上高は前年同期を上回りました。

以上、ガラス事業の売上高は45,051百万円 (前年同期比9.6%増) となり、63百万円の営業利益 (前年同期比1,745百万円の改善) となりました。

(化成品事業)

化学品につきましては、主力製品の出荷が低調に推移しましたため、売上高は前年同期を下回りました。

ファインケミカルにつきましては、医薬関連製品や半導体・液晶関連産業向け特殊ガス製品の出荷が低調に推移しましたため、売上高は前年同期を下回りました。

肥料につきましては、主力製品の出荷が堅調に推移しましたため、売上高は前年同期を上回りました。

ガラス繊維につきましては、自動車分野の出荷が好調に推移しましたため、売上高は前年同期を上回りました。

以上、化成品事業の売上高は36,654百万円 (前年同期比3.3%減) となり、3,612百万円の営業利益 (前年同期比233百万円の減少) となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は214,920百万円となり、平成24年3月末に比較しまして6,121百万円減少しました。資産増減の主なものは、流動資産は、受取手形及び売掛金の減少などにより5,321百万円減少し、固定資産は、有形固定資産は増加しましたが、投資有価証券の時価の下落などにより799百万円減少しました。負債は、流動負債の減少などにより5,228百万円減少しました。

純資産は116,463百万円となり、自己資本比率は、1.1%増加し53.6%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の残高は、平成24年3月末に比較し、1,351百万円減少の16,461百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動で得られた資金は、税金等調整前四半期純利益や減価償却費などにより7,220百万円 (前年同期比4,297百万円の増加) となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、有形固定資産の取得による支出などにより7,088百万円 (前年同期比3,541百万円の減少) となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、長期借入金の返済や配当金の支払いなどにより、1,548百万円 (前年同期比2,738百万円の減少) となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、円高の長期化や、世界経済の停滞感などにより、景気下振れリスクは高まりつつあり、当社グループを取り巻く環境は厳しさを増していくものと思われま

す。当社グループといたしましては、生産販売体制の強化と原価低減の推進など経営全般にわたる効率化を進め、基幹事業における構造改革を推進するとともに、研究開発及び技術開発を強化し、成長分野への経営資源の重点的な投入を行い、グループ企業力の強化に努めてまいります。

通期の業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間までの業績進捗状況と今後の市場環境、需要動向を踏まえ、平成24年5月9日に公表いたしました通期の業績予想を修正し、以下のとおり見込んでおります。

売上高	1,730億円
営業利益	80億円
経常利益	85億円
当期利益	54億円

なお、通期の業績の見通しにおける下期の前提条件につきましては、為替レートを80円/USドル、原油価格をCIF 113ドル/バレルとしております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

当社及び一部の連結子会社の税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

有形固定資産の減価償却方法については、従来、当社及び一部の連結子会社では主として定率法を採用していましたが、第1四半期連結会計期間より定額法に変更しました。

この変更は、海外事業において多額の設備投資を行っていることを契機に、グループ内の会計処理の統一を検討した結果、当社グループの有形固定資産において今後の使用形態をより適切に反映し、また、原価配分をより適切に損益に反映させるため望ましい方法であるとの判断から実施するものであります。

この変更により、当第2四半期連結累計期間の減価償却費は1,578百万円減少し、営業利益が1,151百万円、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ1,159百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,958	16,610
受取手形及び売掛金	44,577	39,712
商品及び製品	24,858	26,025
仕掛品	1,521	1,433
原材料及び貯蔵品	10,492	10,710
その他	4,667	4,206
貸倒引当金	△295	△240
流動資産合計	103,780	98,458
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	22,468	22,123
機械装置及び運搬具（純額）	23,969	29,119
土地	24,623	24,648
建設仮勘定	9,006	6,872
その他（純額）	2,172	2,391
有形固定資産合計	82,239	85,155
無形固定資産		
のれん	209	107
その他	1,281	1,134
無形固定資産合計	1,491	1,242
投資その他の資産		
投資有価証券	29,044	25,007
その他	4,810	5,391
貸倒引当金	△324	△335
投資その他の資産合計	33,529	30,063
固定資産合計	117,261	116,461
資産合計	221,041	214,920

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,258	14,977
短期借入金	32,222	32,943
未払法人税等	2,089	1,345
賞与引当金	1,266	1,324
工事損失引当金	4	2
災害損失引当金	10	10
その他	17,531	17,652
流動負債合計	71,383	68,257
固定負債		
社債	400	400
長期借入金	15,097	13,652
退職給付引当金	8,191	7,996
役員退職慰労引当金	50	36
特別修繕引当金	4,059	4,378
環境対策引当金	165	165
その他	4,336	3,571
固定負債合計	32,301	30,199
負債合計	103,685	98,457
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,168	18,168
資本剰余金	8,117	8,117
利益剰余金	90,373	91,926
自己株式	△2,837	△2,839
株主資本合計	113,821	115,373
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,685	4,269
繰延ヘッジ損益	389	38
為替換算調整勘定	△4,885	△4,584
その他の包括利益累計額合計	2,189	△276
少数株主持分	1,345	1,366
純資産合計	117,355	116,463
負債純資産合計	221,041	214,920

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	78,991	81,705
売上原価	59,641	61,510
売上総利益	19,350	20,194
販売費及び一般管理費	17,194	16,519
営業利益	2,155	3,675
営業外収益		
受取利息	6	7
受取配当金	266	306
持分法による投資利益	21	—
助成金収入	319	—
貯蔵品売却益	156	373
その他	735	801
営業外収益合計	1,505	1,489
営業外費用		
支払利息	277	245
為替差損	333	245
持分法による投資損失	—	5
その他	953	608
営業外費用合計	1,563	1,105
経常利益	2,097	4,058
特別利益		
固定資産売却益	84	—
特別利益合計	84	—
特別損失		
固定資産売却損	14	—
投資有価証券評価損	61	330
合弁契約解消に伴う損失	—	282
特別損失合計	76	613
税金等調整前四半期純利益	2,105	3,445
法人税等	1,051	1,228
少数株主損益調整前四半期純利益	1,054	2,216
少数株主利益	55	35
四半期純利益	999	2,181

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,054	2,216
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,052	△2,405
繰延ヘッジ損益	△98	△350
為替換算調整勘定	△19	244
持分法適用会社に対する持分相当額	△5	63
その他の包括利益合計	△1,175	△2,448
四半期包括利益	△120	△231
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△177	△284
少数株主に係る四半期包括利益	56	53

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,105	3,445
減価償却費	5,692	3,691
のれん償却額	123	107
引当金の増減額 (△は減少)	△156	117
受取利息及び受取配当金	△272	△313
支払利息	277	245
持分法による投資損益 (△は益)	△21	5
投資有価証券評価損益 (△は益)	61	330
固定資産売却損益 (△は益)	△74	8
固定資産廃棄損	241	216
売上債権の増減額 (△は増加)	1,066	4,931
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△4,219	△1,168
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,303	△2,639
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△283	100
未払費用の増減額 (△は減少)	△963	△992
その他	2,108	1,130
小計	3,382	9,216
利息及び配当金の受取額	272	313
利息の支払額	△266	△286
法人税等の支払額	△465	△2,022
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,923	7,220
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△141	△15
定期預金の払戻による収入	141	15
有形固定資産の取得による支出	△5,997	△6,861
有形固定資産の売却による収入	219	36
投資有価証券の取得による支出	△18	△29
事業譲受による支出	△4,457	—
その他	△376	△233
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,629	△7,088
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△2,230	552
長期借入れによる収入	—	142
長期借入金の返済による支出	△1,387	△1,579
自己株式の取得による支出	△2	△1
配当金の支払額	△627	△627
少数株主への配当金の支払額	△33	△31
その他	△4	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,286	△1,548
現金及び現金同等物に係る換算差額	△45	64
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△12,039	△1,351
現金及び現金同等物の期首残高	28,101	17,812
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,062	16,461

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報

1 前第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	ガラス事業	化成系事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	41,098	37,892	78,991	—	78,991
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,436	636	2,072	△2,072	—
計	42,534	38,529	81,064	△2,072	78,991
セグメント利益又は損失 (△) (営業利益)	△1,681	3,845	2,164	△8	2,155

(注) 調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	ガラス事業	化成系事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	45,051	36,654	81,705	—	81,705
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6	1,052	1,058	△1,058	—
計	45,057	37,707	82,764	△1,058	81,705
セグメント利益 (営業利益)	63	3,612	3,675	△0	3,675

(注) 1. 調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. 「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」に記載の通り、有形固定資産の減価償却方法については、従来、当社及び一部の連結子会社では主として定率法を採用していましたが、第1四半期連結会計期間より定額法に変更しました。これに伴い、従来の方法によった場合と比べて、当第2四半期連結累計期間のセグメント利益がガラス事業で498百万円、化成系事業で653百万円増加しております。